

常照寺弘報

発行所
宇都宮市中央3-11-13
常照寺
宇陽山
028-634-4205
角田和道
角田和道
青木

4 月 号

① 高祖大士立教開宗記念日・門祖会無事奉修
お供え教化必成と各教区の後続者育成
② 自宅の御宝前のお給仕見直しと改良断行

日晨上人要語録より

◎信の一字

人間の暮らしは、もちつ、もたれつというのが原則です。どんなにエライ人でも、自力だけでは暮らせません。多くの人や、物のおかげに依存して生きています。ですから、社会という立場から見れば、みんな細胞で、全体に対して自分の役目を果たさなければ、生存を許されません。したがって他との協力方法が下手だと、ヒドイ目にあいます。

人体にとって有毒なものは排泄され、大切なものは外に出ないように守られます。血液は大切ですから、誤って出血しても、スグ血が固まって切り口をふさごうとします。同様、社会でも有害な人は、刑務所に入れて害毒を他に及ぼさぬように、社会から締め出されますし、そこまでいかななくても、人が嫌がって目に見えない垣をされ、警戒されます。有害でもなく、有益でもない人は、排斥もされないが歓迎もされませ

ん。有益で、いてくれなければ困るという人は、人から歓迎されて、多忙な日を送り、生活にも困らぬでしょう。

では有益な人とは、どういう人でしょうか。会社を例にとれば、会社が発展する図星を心得て、それに役立つ働きを、自己の立場に応じてやる人が大事にされ、見当違いの力の入れ方をする人は喜ばれませぬ。むしろ、発展を阻害する人は嫌われ、ときには首になるでしょう。

ですから、ただ働いていれば、何とかなるといふようなネボケタやり方はだめで、要点を正確に把握して、それに協力することが肝要です。

信心上のご奉公でも、たとえば、総助行運動開始というときに、ご奉公の要点をまづつかみ、それを達成する良法を考え、その上で骨惜しみをしない行動が大事です。つまり前期と後期の中間に行なわれる助行運動という性格だけを考えても、今回、この点に重点を置かねばならぬといふことがわかるはずですし、運動の趣意書をよく読めば、どこにネライがあるかわかります。

当宗で最も強調する「信の一字」ということでも、ただ疑いなく、素直に聞くことだという一般の解釈だけでは満足できません。仏の意をくみ取って、特に力の入った点を間違いなく信受することに努めることです。その仏の本心に即応する努力をしないで、単に仏説を信じて、方便や、随他意の仏説では、仏の真意を信ずることになりませぬから、当宗の信心ではありませぬ。それで、当宗の信者は、いつでも、仏祖の根本の心にならなっているや否やを反省しつつ、信行を進めることが大事です。もろもろのご奉公も、生活建直し運動も、一番大事な心構えは、根本精神に即応して行動するケイコをすることなのだといふことです。どうしても、手前勝手な考え方が前面に出てきて、根本の心が行方不明になりがちです。「信の一字」についても、当宗流の解釈を持って如説修行をしてほしいものです。

四月のご奉公のすゝめ

◎「高祖日蓮大士七五〇回御遠諱」

報恩奉公 第一年度きりかえの年

今月の二十一日は、当山『門祖会』が館林常信寺御高職・横谷日熾上人ご唱導のもと奉修されます。

お会式は全信徒が願主とならせていただく、お寺の大規模なお講です。お供え教化と共に奉修費の随喜奉納に気張らせていただきますように！

一、『門祖会』について

来る四月二十一日(日)十一時より当山『門祖会』を館林常信寺御高職・横谷日熾上人ご唱導のもと奉修させていただきます。

横谷御導師は、現在宗務本庁総務局で秘書部長のご奉公をなされておられます。

また、乗泉寺門末寺院「信廣会」の幹事長や第六宗務支庁長、関越布教区長を歴任された御導師ですので、家族総参詣を心がけて御法門を聴聞させていただきますように！

なお、当日は桐生常薫寺御高職 服部欽要御住職、水田廣清講師もご出席くだされます。

コロナ禍の未だつづくなかです、くれぐれも体調には留意し、当日は受付で検温とアルコール消毒をしてから本堂へお入り下さい。

◎門祖日隆大聖人御開山会式

日時 四月二十一日(日)十一時

◎奉修導師

館林常信寺・栃木常法寺御高職

横谷日熾上人

御教歌

此君の いまさざりせば 遠つおやの
清きながれを 誰かくまうし

二、立教開宗記念口唱会

今から七十七年前の建長五年(西暦一二五三年)四月二十八日、高祖日蓮大士は現在の千葉県清澄山清澄寺の旭ヶ森に於いて、昇る旭に向かつて『上行所伝の御題目』を声高らかに唱えられました。

この日を『立教開宗記念日』として、宗内では「報恩口唱会」を実施しています。

当日は、九時より十一時まで二時間の報恩口唱会を本堂に於いて実施させていただきます。

本年は、令和十三年にお迎えする『高祖日蓮大士七五〇回御遠諱』報恩ご奉公の第一年度目の記念すべき年です。

報恩のまことを尽くすべく教化必成を目指し熱闘のお看経をあげさせていただきますように！

御教歌

吾祖師の 宗旨びらきの はじめには
旭のそらに 鶴の舞ひしと

三、佛立菩薩道実践につとめよう！

本年は、令和十三年にお迎えさせていただきます『高祖日蓮大士七五〇回御遠諱』の第一年度目、きりかえの年です。

常照寺では、お祖師さまのご降誕八百年慶讃ご奉公の一環として、令和元年より「信行相続教化」の促進ご奉公を勧めましたが、ご信者の皆さまのご尽力によって数多くの信行相続を成就させていただきました。しかし、油断は禁物です。何故ならば、現在の

常照寺は信徒の高齢化が著しく、ご信者さんおひとりご帰寂なされると、それでもう一件の正宗徒が減少してしまうからであり、たとえそのご家庭のご子息やご息女が信行相続なされたとしてもプラスマイナスゼロです！

高祖大士七五〇回御遠諱をお迎えするにあたって、引きつづき「信行相続」を推進させていただきます、また「宗外者教化」も成就させてい

「わたしは口下手だから」と言ってお教化は他のご信者がするものだと思っている方はいせんか？

法華経の『法師品』には、

『若し是の善男子・善女人我が滅度の後、能く竊かに一人の爲にも法華経の一句を説かん。当に知るべし、是の人は則ち、如来の使なり』

(法華経 開結三〇八頁)

とお示しです。

善男子・善女人とは教えをいただく男女のご信者ということで、たとえ密かた、どうとうとしてなくてもいいから、たった一人の方にでもよいから、ご信心のお話をして、お教化につとめる人は立派な如来(仏さま)のお使いであると、お示しです。

◇◇◇
お祖師さま七五〇回御遠諱報恩ご奉公第一年度の記念すべき年、報恩のまことを尽くさせていただきますように！

御教歌

一人の 為にも法を とく人は
是が如来の つかひ也けり

◎教務部からのお願い

●三月から「ご祈願カード」の変更について

①今までの黄色のご祈願カードから、ブルーの「ご祈願用紙をお使いください。変更の理由は、「ご祈願」が成就するまで自宅の御宝前で、ご祈願をおかけした本人が、祈願成就するまで、御題目口唱に緊張らせていただくことが大切だからです。

②ご住職が、お寺での御宝前で言上なさっていたら、自宅御宝前に「祈願カード」をおあげして、お看経に励んで、一か月過ぎたら、必ずお礼をおあげし、翌月にまた新たに「ご祈願」をおかけさせていただくことが、佛立信心の基本です。③悪いと思ったら、即座にご信心を改良させていただく努力をすることが、祈願成就の近道です。

開導聖人は、

祈願して 成ずる物と 捨おかは

権兵衛が種まき 烏ほぜくる

と、ご祈願の掛っばなしは、御宝前に失礼であるとお諭し下されいます！
ご利益が頂戴できるまで、御題目口唱に励ませていただくことが何よりも肝心です！

お知らせ

6月9日(日)
くんげ会御講奉修
お参詣まってるよ!

詳しくは5月号の弘報にて



4月13日(土)8:00より約1時間、境内地清掃(除草など)を行います。一緒に、「みんなの常照寺」をきれいにしませんか? 10:30からは「高祖日蓮大士ご命日総講」です。家族でお参りしましょうね!!

◎木更津妙蓮寺門祖会団参記

去る三月十日(日)、木更津妙蓮寺さまの門祖会に代表参詣六名でお参詣させていただきました。奉修導師・当山住職内田日孝導師ご唱導のもと晴天のなか無事奉修されました。奉修導師の御法門は、

御教歌

わすれては おもひ出して はげめども
をこたがりがちに 成ぞくやしき

私たちが信者は、勉強にしろ仕事にしろ最初のうちはとにかく頑張ろうとするのですが、慣れてきたり覚えてくると、途端に怠け心が出てきてしまいます。ご信心の場合も同様で、お互い信者は常づね口唱信行に励むことが大切と教えていただきました。

お会式の終了後、妙蓮寺御住職・竹村日愛導師のお話を拝聴させていただきました。また、二本の貴重なビデオを観賞し、多くのことを学ばせていただきました。①ホームページなどで「子ども食堂」への参加を広く呼びかけて、地域交流を計っていること。

開催すると「百人以上」の方が集まってくださり、そこから教化にも繋がっているとのこと。

②寺号公称されてからのご信者さんのお話では、「何ごとも異体同心でなければご奉公は成しとげられない。一人でも他を向いてはダメ」という体験談には、今日までのご苦労が偲ばれ、深く心に刻まれました。③境内のすみずみまで、景観が整えられており、信者の皆さまの心を尽くし、身を労しているご奉公ぶりハッキリと判ったこと。

④接待や案内係の方の細やかなお声かけが、まごころこもっていて、その有り難い気遣いに参詣者一同、とても随喜をさせていただき、自分自身のご奉公への取り



次回のお焚き上げは
5月5日(日)です。



組み方を見直すキッカケとなったこと。
⑤低年齢のお子さんから壮年期の方がたまでが、幅広くご奉公に参加されていて、規律がありながらも和気あいあい、勢いを感じるお寺でした。
自坊への篤い思いの深さと、異体同心の和、また慈悲心の大切さを教えていただけた団参でした。
妙蓮寺の皆さま、ありがとうございました。ごさいます。
濱口 明子 記



宇都宮城址公園

3月20日撮影

諸納金月報 令和6年2月 単位 円					法城護持基金			
教区名	部	義納金	御講賽銭	願主奉納金	人数	基金	人数	特志
寺	内				7	37,500	1	20,000
他寺院								
常照寺								
城東	1	3,300		310	5	8,500		
	2	6,000	500	630	17	20,000		
	3			550				
清原		3,900	300	390	9	10,500		
陽北		16,500	700	1,430	17	30,500		
西原		900	500	680	5	25,500		
松原		3,600	200	290	8	6,500		
江曾島	1	17,700	500	1,350	23	17,500		
	2	29,200		1,060	20	34,000		
石宮	1	6,300	700	280	7	7,500		
	2	8,100	800	850	19	27,500		
壬生	1	2,400		200	4	7,000		
	2	6,000	700	710	18	31,000		
今光	1	14,400	1,000	740	14	25,000		
	2	2,400		150	3	3,000		
鹿沼		3,900	300	260	9	9,000		
矢板		1,380	300		4	13,000		
玉生								
那須								
塩原								
高根沢		1,800	600	180	5	6,000		
芳賀南	1	2,100	500	210	6	4,500		
	2							
結城		2,100	700	210	3	4,500		
湯西川								
婦人会			500					
壮年会			1,600					
市外合同			700					
合計		131,980	11,100	10,480	203	328,500	1	20,000

春季彼岸会総回向

三月二十日(水)十時より、春季彼岸会総回向が当山ご住職ご唱導のもと、無事奉修されました。お参詣は百二十三名でした。天気予報では降雨が心配されましたが、納骨堂でのお看経が終了するまで本降りにはならず、おはからいをいただけたと感謝しております。



佛立ベビー初参り

○堀江 詞葉さん(壬生教区二部)

父^{のりあき}紀彰さん、母^{ゆい}由衣さんの長女として、令和五年十月十一日に生まれ、令和六年二月二十四日、ご両親、兄さんの倫生くん、伯母の桃代さんと一緒に初参りをされました。健やかな成長を祈念いたします。因みに陽哲師のお孫さんです。



●事務局から

【変更】

月締め日の変更について

現勢報告書が様式変更となりました。それと
もない各奉納金・諸納金の月締め日を、「十三日か
ら二十五日に変更」させていただきます。出来るだ
け小銭を避け、釣り銭がないようにお願いします。

【教区での取りまとめ】

御供米料・奉修費・彼岸会や夏期総回向などのご
回向料やお塔婆料なども、個人ごじにはお預かり出
来ませんが、御供米料も各教区の会計業務として、現
勢報告書に記載しなければならなくなりました。

【確認】

- ① 金銭に関することは、十四時までにお問い合わせ下さい。
- ② 連絡事項がある場合は、受付カウンター前に掲示
しますのでご覧下さい。
- ③ 事務所でのお塔婆の申し込みは三日前までです。
急なご用の場合、直接、教務までご相談ください。
- ④ ごみの持ち帰り

寺内のごみは「事業系ごみ」の扱いのため、地域の
ごみステーションには出せず、有料回収となります。
お参詣の際にはごみ(特にペットボトルや缶類)
の持ち帰りをお願いします。

「ありがとうございました」

能登半島地震支援金は三月二十日で締め切らせ
ていただきましたが、総額八万四千円となりました。
ご信者の皆さまの温かなご支援とご協力に感謝申
しあげます。

宇陽山の散歩道

掲載作品はホームページ内の「ギャラリー」文芸にお
いて、片桐基城先生(那須教区)の推敲、寸評、添削を
していただいております。

今月号から狂歌も掲載されています。狂歌は和歌
(短歌)の形式に、卑俗滑稽な内容を盛って詠んでい
るものです。思わず吹き出しそうになる作品もあり
ますので御拝読下さい。投稿者は増加中ですが、まだ
投稿されていないみなさん、少しだけ勇気を出してみ
ませんか。ぜひ一緒に言葉遊びを楽しみましょう！

また、くんげ会のみなさんからの投稿も待ち遠しい
です。俳句、川柳、短歌には限りません。詩や作文
(家族旅行や参加したイベントなど何でも結構です)、
絵画やイラスト・写真・動画などもホームページとリン
クして紹介させていただきます。もちろん、おとなの
方も大歓迎です。作品は宇清師あるいは事務所に提
出してください(ペンネームでも結構です
すが、必ず教区・部は書いて下さい)。

俳句

春を待つ寒さこらえるふきのとう

鈴木サト子(石宮)

庭花壇新芽探して春を待つ

清澤久子(壬生②)

寒暖差身も心にもすきま風

澤村まつ子(矢板)

春陽射し感謝を込めてふとん干し

澤村まつ子(矢板)

春一番過ぎたる後の穂やかさ

大和佳子(松原)

春雪や日の出とともに姿消す

角田和道(今光)

驚鳴き持病癒す八十路かな

金子龍夫(江曾島②)

小絞鶏のクヌギの小道駆け去りぬ

金子龍夫(江曾島②)



春告げる初鳴き調子今一つ

清澤 修(壬生②)

病室の疵の手鏡窓凍てる

青木幸子(事務局職員)

枝揺らし青空睨む巢立鳥

渡邊孝之(江曾島②)

梅花散り残り香のこす彼岸かな

渡邊孝之(江曾島②)

菜の花や揺らぐ川面に揺らぐ色

渡邊孝之(江曾島②)

短歌・狂歌

此処はどこ頼りのナビも道迷う

清澤 修(壬生②)

お焚き上げ冬はヨイヨイ夏はコワイコワイながらも通

りゃんせ通りゃんせ

アボシ(江曾島②)

寺内にてちよっといいかと言われたら心はソッコウ寂光

アボシ(江曾島②)

参拝

コロナあけ桜咲く頃会う約束の高期になった同窓の友

石川けい子(城東①)

茶色のワイシャツ渋めのネクタイ目を輝かせ二十才初

孫

石川けい子(城東①)

出番なしホットプレート古希過ぎてじっと眺めてそっと

微笑む

福田時子(江曾島②)

人生訓

揉め事の種は撒くまい拾うまい

清澤久子(壬生②)

今日の日は明日のための道しるべ心を軽く意気揚々と

清澤久子(壬生②)

世の中は悪い人ばかりではなし

隣の先生菩薩のつかい

てっちゃん



金子みすゞさんの詩に魅せられて

山口県萩市から国道101号線を長門市方面に約一時間くらい走ると、金子みすゞさんの『ふるさと』である漁師町、仙崎湾に到着する。

金子さんは明治三十六年にこの地で生まれ、こよなくこの仙崎の町を愛したという。当時の仙崎は今よりももっと漁業が盛んで町は活気にあふれ、とくに『おおばいわしの収穫時期になると夜から明け方にかけて、海には漁船が所狭しと並び、一キロに及びガス灯の明かりをたよりに、子どもまでもが繰り出して網を引き、その姿はまるで祭りのようだったという。そんな金子さんの童謡集の中にある一首が次の『大漁』という詩だ。

大漁

朝焼け小焼けだ
大漁だ
おおばいわしの
浜は祭りの
ようだけど
海のなかでは
何万の
いわしのとむらい
するだろう。



※金子みすゞ童謡集 ハルキ文庫より

三歳の時父親を失ない、結婚をされてからも夫に詩を書くことを反対されたり、多難な人生を歩まれた金子さん。

誠に残念なことに二十六歳の若さで自らの命を絶たれこの世を去るのだが、生涯に残された詩、五十二編の中すべてに、今も金子さんが生き続けているような気がする。

小中学校の教科書にも掲載されている有名な金子さんの詩であるが、現代の私たち日本人が失ってしまつた、自然への思いやりや暖かい心を持つことの大切さを金子さんは数かずの詩を通じ、私たちに教えてくれているのでないか！

すたまな次郎 記

「メロン味」のメロンパン

パンの語源はポルトガル語のP.O.である。日本のパンの歴史は安土桃山時代にまで遡り、フランススコルザビエルなどのポルトガル人宣教師が、食料としてパンを持ってきたことから始まる。それ以来約五百年、パンは日本で総菜、パンや菓子、パンなど独自の発展をとげ、これらは世界に逆輸入され注目を集めている。



私は特にメロンパンが好きである。メロンパンとは生地をクッキー生地で作って焼くことで、外のクッキーのサクツとした食感と中のパンのしっとりもちっとした食感がおいしいパンである。老若男女から高い人気を誇り、どのパン屋でも売られている。高速道路のサービスエリアにはよくパン屋があり私は必ずメロンパンを買うのだが、しばしば問題が起きる。

問題は「メロン味」のメロンパンである。もともとメロンパンとは、形がメロンに似ていることからメロンパンと名付けられたのである。決してメロンの味がする。パンをメロンパンと呼ぶのではない。しかし、そのメロン味のメロンパンには、メロン味のクリームが入っており、普通のメロンパンを食べたい私を裏切ってくるのだ。

商品棚の説明には「メロンパン〇〇円」とだけしか書かれておらず、私をはめようとするのだ。もし、メロン味のメロンパンを売る場合は「メロンパン〇〇円 ※これは特殊なメロンパンです。」と書いてほしいものである。

しかしながら、私が「メロン味」や「メロン風味」といったものが嫌いなだけかもしれない。世の中にはメロン味のメロンパンを待っている者もいて、メロン味のメロンパンを売っている。パン屋はその需要に商機を見出しているのかもしれない。実際、メロンが特産の場所では、メロンパンはメロン味にした方が観光客や外国人の目にも止まりやすく売れるであろう。結局は、真のメロンパン好きは、パン屋のトラップに引つかからないよう慎重に生きるしかないであろう。



実家がお寺に近い大学生

◆ 訃報

- 飯野晴一(城東①)
行年八十一歳(二月十四日帰寂)
法号 永壽院法晴信士
- 宇梶利男(今光②)
行年七十五歳(三月五日帰寂)
法号 本御院法警日利信士
- 水野耕次(城東③)
行年八十歳(三月十二日帰寂)
法号 本善院法味日耕信士
- 加藤和夫(西原)
行年九十三歳(三月十八日帰寂)
法号 卒壽院法道日和信士

心よりご冥福をお祈り申しあげます。

編集後記

先日、納骨堂から春季彼岸会のお塔婆を運び出す御奉公をしていました。コンクリートと砂利との段差で足首がカクンとなり、ひさしを支えている鉄柱に肩でタックル。大きな音が響いたので、どうやら転倒したと思われるみたいで、少し離れたところから「大丈夫？」と声かけをしていただきました。本当はあの時、大丈夫ではなかったのです。私の腕時計が震えだし、画面には「緊急通報」のメッセージが。慌てて、「いえ転倒ではありません」というメッセージボタンを押してキャンセルしました。

実はスキー場で転倒し、本人が気づかないうちに救急車が到着してしまうケースが多発しているそうです。この機能を利用した警備会社の見守りサービスもありませんが、思わぬところで実証実験をしてしまいました。便利と言えれば便利なのですが…。「本門佛立宗」のホームページ(H.P)がリニューアルされ、大変充実していますので、ぜひご覧下さい。また、常照寺ホームページでは、完成後、すぐに弘報が見られます(前月の二十七日ごろ)。

常照寺HP



本門佛立宗HP



日	曜日	時間	教区・行事	席主	場所・区分	事務併修	住職	宇清	陽哲	備考		
1	月	10:30	月始め祈願総講							当番 江曾島①・石宮・今光		
		12:50	役中会									
2	火	10:30		護念寺総講			◎			(往)護念寺へ出張		
3	水						◎			(往)乗泉寺へ出張		
4	木	11:00	陽北	高橋勝彦	甲御講		○	○				
5	金	13:00	陽北	阿久津英治	乙御講		○					
6	土	10:30		護念寺門祖会			◎	◎		(往・宇)護念寺へ出張		
7	日		男子信徒	弘通促進助行				◎			晨朝勤行(朝参詣)に併修	
		14:00	松原	栗山和夫	乙御講			○		(往)宗務本庁へ出張(7~9日)		
8	月	10:00	西原	小林昭史	乙御講		◎	○				
9	火						◎					
10	水	14:00	清原	山口淑甫	乙御講			○				
11	木	10:30	佛立宗学塾団委員会					○				
		14:00	石宮①	金田小代子	甲御講			○	○			
12	金	14:00	城東①	阿部軍太郎	甲御講			○	○			
13	土	8:00	境内地清掃(除草)								男子信徒・女子信徒合同	
		10:30	高祖日蓮大士ご命日総講								当番 城東・清原・壬生	
		11:40	弘通促進助行									
		12:50	三役会議					○	○	○		
14	日		女子信徒	弘通促進助行							晨朝勤行(朝参詣)に併修	
		11:00	前橋・本勝寺門祖会					◎	◎		(往・宇)本勝寺へ出張	
15	月	9:00	婦人会	小野美智子				○				
		11:00	結城	坂本 博	乙御講			○				
		12:00	那須	渡部 貢	乙御講				○			
16	火		佛立修学塾開校式・閉校式(妙玉寺)				◎	◎	◎	※住職・宇清・陽哲・妙玉寺へ出張		
17	水	10:30	開導日扇聖人ご命日総講								当番 西原・松原・高根沢	
		12:50	市外合同	井上 眞	甲御講			○	○			
18	木	11:00	江曾島①	沼尾正稔	乙御講			○				
		11:00	今光①	高橋 稔	乙御講				○		一部・二部合同	
19	金		門祖会準備ご奉公					○	○	○		
20	土		門祖会準備ご奉公						○	○	○	
		12:00	芳賀南①	藤林昌弘	乙御講			○				
		14:00	高根沢	高田三樹男	乙御講			○				
21	日	11:00	門祖日隆大聖人御開山会式									
			男子信徒	弘通促進助行								晨朝勤行(朝参詣)に併修
22	月	14:00	西原	田代正夫	甲御講			○	○			
23	火	11:00	江曾島②	近藤佐知子	乙御講			○				
		11:00	石宮①	半澤節子	乙御講				○		一部・二部合同	
24	水	11:00	矢板	澤村まつ子	乙御講			○				
		11:00	松原	小松充光	本堂回向				○			
25	木	10:30	門祖日隆大聖人ご命日総講								当番 陽北・江曾島②・鹿沼	
		12:50	局長室会議						○	○	○	
26	金	11:00	鹿沼	前川長司	乙御講		○		○			
		14:00	壬生②	金子恵子	乙御講				○			
27	土	11:00	城東③	水野喜美子	自宅回向				○		尽七日記・納骨	
									◎		(往)博多・本法寺へ出張(27~29日)	
28	日		女子信徒	弘通促進助行							晨朝勤行(朝参詣)に併修	
		10:00	西原	石島洋子	本堂回向				○			
29	月		博多・本法寺「門祖会」講有巡教						◎			
		9:00	壮年会	卯月英雄	寺内				○		壮年会御講	
30	火											